

命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクトについて

令和5年3月8日
国土交通省 港湾局

「命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト」について

○藻場・干潟等の海洋生態系により蓄積される炭素(ブルーカーボン)がCO₂吸収源対策として世界的に注目されており、国土交通省港湾局では、ブルーカーボン生態系の保全・再生・創出を推進している。

○藻場・干潟等をブルーインフラ※と位置づけ、全国の港にブルーインフラの拡大を進める「命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト」を令和4年度よりスタートする。

※藻場・干潟等及び生物共生型港湾構造物

ブルーカーボン生態系

【海草(うみくさ)藻場】



【海藻(うみも)藻場】



活用

○様々な環境価値
水質浄化、地球温暖化対策、食料供給

ブルーインフラの拡大に関する取組事例

【生物共生型港湾構造物の整備】



※イメージ図

【浚渫土砂を活用した干潟の整備】



【命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト】

・ブルーインフラの保全・再生・創出の拡大に向けた環境整備等の取組を
短期集中的(令和5年度まで)に進める

- ①ブルーカーボンの先導的な取組の推進(全国展開)
- ②温室効果ガス吸収源の拡大効果の簡便な算定手法の検討
- ③港湾施設の設計・工事における環境保全への配慮に係る取組の強化

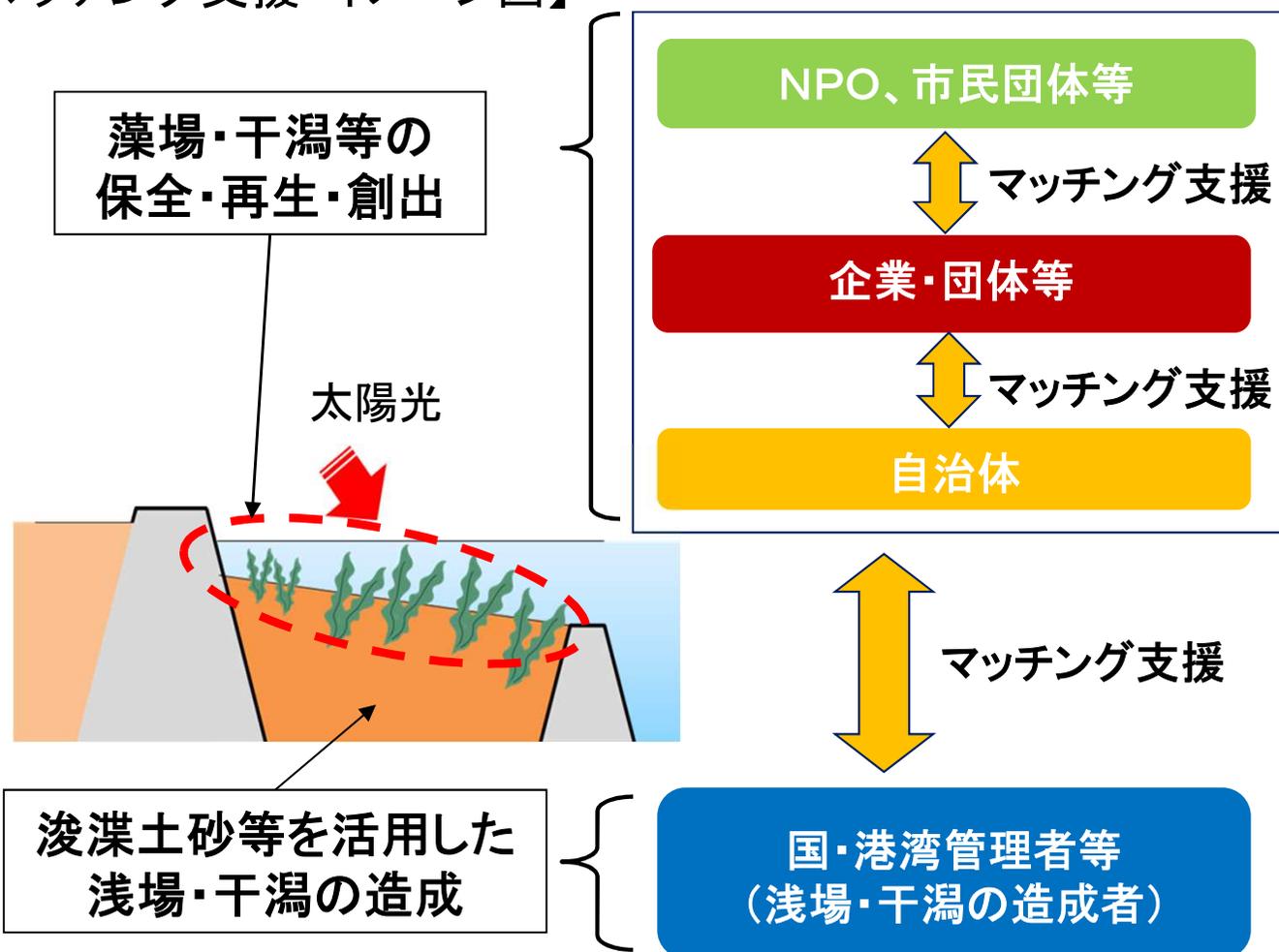
①ブルーカーボンの先導的な取組の推進(全国展開)

○藻場・干潟等の保全・再生・創出の取り組みの推進には、藻場・干潟等の育成に関する豊富や知見を有する担い手の確保やその担い手が活動を行うための安定的な活動資金の確保が課題となっている。

○近年、特に企業のブルーカーボンを通じた社会貢献に対するニーズが高まっていることを踏まえ、国土交通省港湾局では、企業に対して活動の場を斡旋したり、藻場・干潟等に関する豊富な知見を有するNPOを仲介するなど担い手となる主体のマッチング支援を行う。

【マッチング支援・イメージ図】

藻場・干潟等の保全等・育成の担い手

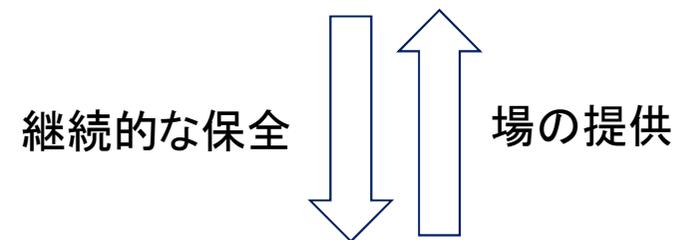


○先導的事例：徳山下松港(大島干潟)

大島干潟を育てる会

山口県漁業協同組合
周南統括支店

周南市



・港湾管理者：山口県
・造成：四国地方整備局

②温室効果ガス吸収源の拡大効果の簡便な算定手法の検討

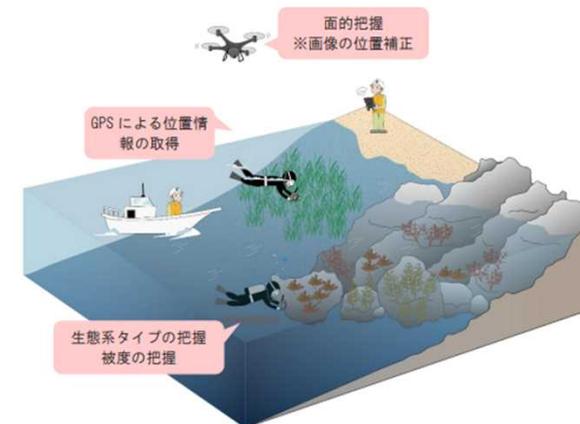
○ブルーカーボンクレジットの申請に必要となるCO₂吸収量の算定に当たっては、算定根拠となるデータの計測に一定の精度が必要となっており、計測において費用や手間を要していることから、CO₂吸収量を簡便に算定する手法について検討を行う。

○データ計測方法

- ・計測機器の購入等に掛かる費用
- ・長期間にわたる計測の実施
- ・事務手続き等に掛かる多大な労力

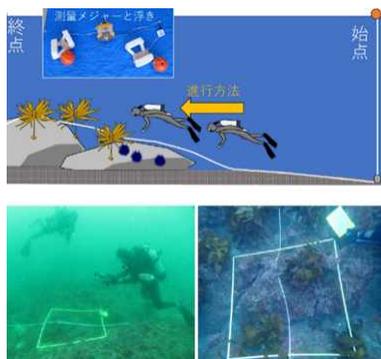
- ・現状の算定方法では取組参加へのハードルが高い
- ・より簡単に取組の規模感(吸収量)を把握できる算定方法を検討

【分布面積の把握方法】



○簡便な算定手法の検討

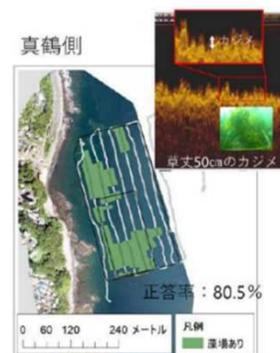
【潜水調査】



【目視による海面目視調査】



【音響測深機による調査】



【空中ドローン調査】

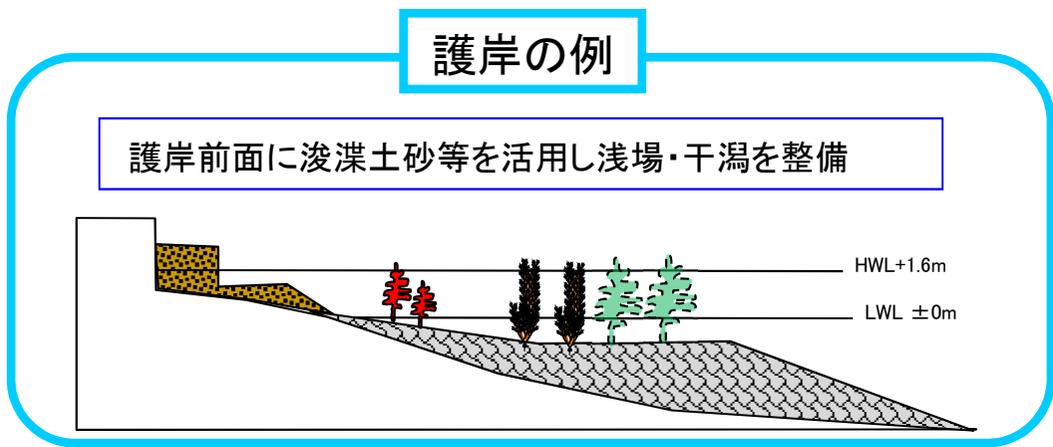


- ・調査方法の組み合わせ等により、CO₂吸収量を簡便に算定する手法を検討

③ 港湾施設の設計・工事における環境保全への配慮に係る取組の強化

- 今後整備する港湾施設(護岸等)を生物共生型の構造とする標準化を目指し、技術基準の改正を検討する。
- 港湾工事(直轄事業)の施工段階で発生するCO₂の削減を目的として、令和3年度より実施している「港湾工事における二酸化炭素排出量削減に向けた検討WG」において、施工段階でのCO₂排出量の算定手法の検討、CO₂排出の削減に資する取組の普及促進に向けた試行工事の内容検討等の取組を進めている。

【港湾施設(護岸等)を生物共生型の構造とする標準化を検討】



(参考)令和4年度Jブルークレジット認証プロジェクトの取引8件について

○令和4年度は、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合において21件のプロジェクトをクレジット認証。
 ○21件の内、8件のプロジェクトにおいて、企業・団体等とのクレジット取引が行われた。

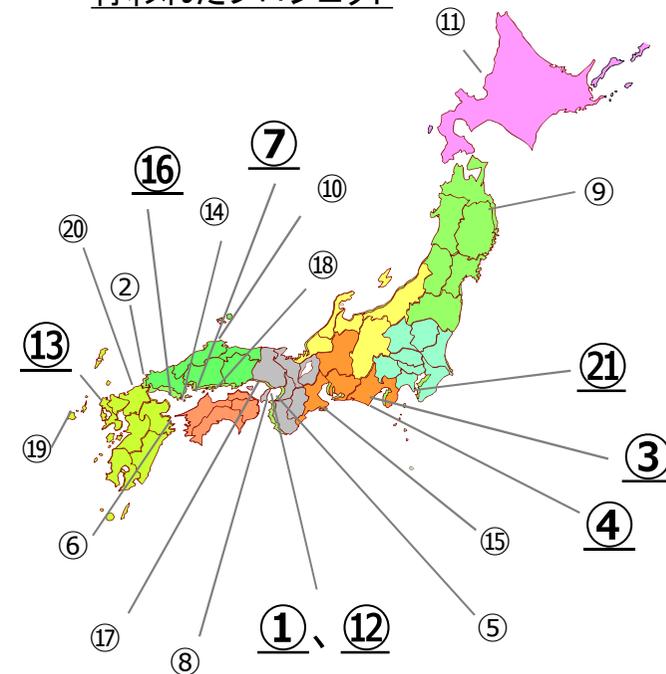
備考: 残る13プロジェクトについては、クレジット創出者の意向にもとづき令和5年度以降に取引、あるいは自社等のオフセットに活用予定。

【令和4年度クレジット認証プロジェクト一覧表】

番号	略称	プロジェクトの名称	吸収 認証量 (t-CO2)	番号	略称	プロジェクトの名称	吸収 認証量 (t-CO2)
1	神戸市 (兵庫県)	神戸空港島緩傾斜護岸における ブルーカーボン創出活動	9.3	12	兵庫運河 (兵庫県)	兵庫運河の藻場・干潟と生きもの生息場づくり	2.1
2	長門 (山口県)	山口県下関市特牛地先・磯守 ブルーカーボンプロジェクト	2	13	唐津 (佐賀県)	串浦の美しき藻場を未来へ繋げるプロジェクト	41.1
3	相良港 (静岡県)	榛南地域における 藻場再生プロジェクト	49.1	14	神代 (山口県)	岩国市神東地先におけるリサイクル資材を活用 した藻場・生態系の創出プロジェクト	79.6
4	久々生 (静岡県)	御前崎港久々生(くびしょう)海岸 里海プロジェクト	1	15	南伊勢 (三重県)	三重県熊野灘における藻場再生・維持活動	28.9
5	阪南市 (大阪府)	～魚庭の海・阪南の海の再生～ 「海のゆりかご再生活動」	3.4	16	周南市 (山口県)	大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボン プロジェクト in 徳山下松港	32.4
6	佐伯 (大分県)	大分県名護屋湾・磯守 ブルーカーボンプロジェクト	0.6	17	明石 (兵庫県)	明石市江井島周辺を中心とした藻場造成 「アマモは海のゆりかごだ！」プロジェクト	6.4
7	広島 (広島県)	似島二階地区 藻場造成・保全プロジェクト	2.4	18	尾道市 (広島県)	尾道の海のゆりかご(干潟・藻場)再生による里 海づくり	130.7
8	関空 (大阪府)	関西国際空港 豊かな藻場環境の創造	103.2	19	五島市 (長崎県)	五島市藻場を活用した カーボンニュートラル促進事業	12.1
9	洋野町 (岩手県)	岩手県洋野町における増殖溝を活用した 藻場の創出・保全活動	3106.5	20	若松 (福岡県)	J-Power若松総合事業所周辺護岸に設置した ブロックによる藻場造成プロジェクト	10.5
10	島根原発 (島根県)	島根原子力発電所3号機の人工リーフ併 用防波護岸による藻場造成	15.7	21	葉山 (神奈川県)	葉山町の多様な主体が連携した海の森づくり活 動	46.6
11	増毛 (北海道)	北海道増毛町地先における鉄鋼スラグ施肥 材による海藻藻場造成	49.5	CO2吸収認証量の合計 5		3733.1	

【クレジット認証プロジェクトの位置図】

太字、下線はクレジット取引が
行われたプロジェクト



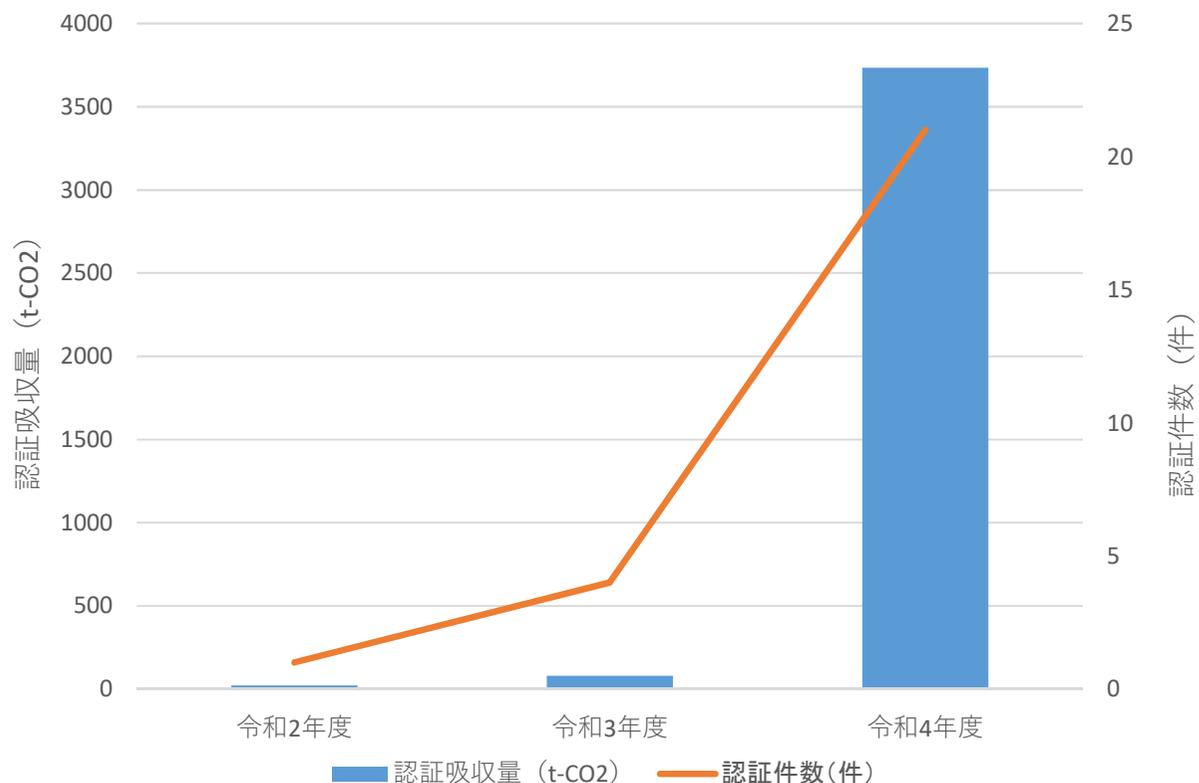
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認証件数	1	4	21
認証量(t-CO2)	22.8	80.4	3733.1

:クレジット取引を行ったプロジェクト(8件)

(参考)令和4年度までのクレジット認証・取引実績

- 令和2年度からジャパングループエコノミー技術研究組合(JBE)においてクレジット認証・発行を開始した。
- 令和2年度の1件から令和4年度には21件まで認証実績が増加した。

【Jブルークレジットの認証件数及び認証吸収量の推移】



	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認証件数	1	4	21
認証量 (t-CO ₂)	22.8	80.4	3733.1

【Jブルークレジット®実績】

- 令和2年度
 - ・認証案件数: 1件
 - ・CO₂吸収量(認証量): 22.8(t-CO₂)
 - ・取引金額: 1万3000円以上(非公開)

- 令和3年度
 - ・認証案件数: 4件
 - ・CO₂吸収量(認証量): 80.4(t-CO₂)
(内、取引量: 64.5(t-CO₂))
 - ・取引額: 約470万円
 - ・平均取引金額: 約7万円/t-CO₂

- 令和4年度(令和5年1月末時点)
 - ・認証案件数: 21件
 - ・CO₂吸収量(認証量): 3,733.1(t-CO₂)
 - 今回8件のJブルークレジット®情報
 - ・取引量: 178.7(t-CO₂)
 - ・取引額: 約1,400万円
 - ・上記平均取引金額: 約8万円/t-CO₂